

守山まるごと活性化 議事要旨

イベント名： 第3回 「A歴史・伝統文化プロジェクト 語り部部会」 会議

日時： 令和2年7月13日（月）午後7時30分から午後9時10分まで

場所： 玉津会館 会議室1

参加者： プロジェクトメンバー 9名 会館1名

開催結果

内容

1. 映像化に向けた検討について

- ・映像化してしまうと、本来の交流しながら「語る」という目的から離れてしまうのではないか。
- ・人と人が面と向かって行うのが「語り」には重要。
- ・映像化するにあたり、実際に紙芝居等をしてもらっているところを撮る方が良いのではないか。
- ・画像のみで映像化してしまうと、顔が見えないので味気ない。
- ・画像のみで流すのであれば、「語り手」は実際に現場で読む方が良い。
- ・映像で残す場合は、部会員で共有するための教材として使用してはどうか。
- ・新型コロナウイルス等により活動が制限され、絶対に行けないような場所に関しては、映像化したデータを渡す。
- ・画像で行う場合は、PowerPointを利用して行うとよい。
- ・映像を残し共有しておくことで、担当者が不在でも全員が実演できる。
- ・部会員以外に見せる場合は、「著作権」には注意が必要。
- ・映像化しておくことで、部会員の入れ替え等の際、すぐに共有できる。

2. 今後の進め方

- ・毎回テーマを2～3つ程度選び、撮影を行う。テーマ毎に意見交換し作品のブラッシュアップをしていく。
- ・撮影したものを編集し、後々共有する。
- ・音声は別でも録音しておく（動画で音声が聞き取れない場合があるため）。
- ・次回は、試験的に「石田の一本松」を実演してもらいながら撮影する。

☆撮影機材・準備物☆

- ・デジタルカメラ（会館）
- ・三脚（部会員）
- ・ボイスレコーダー（部会員、会館）
- ・紙芝居（「石田の一本松」担当者）